

JAPAN WELDING SOCIETY

JOURNAL OF THE
JAPAN WELDING SOCIETY

溶接学会誌

Vol.82
No.6

September 2013

特集 溶接構造物の損傷と溶接力学の温故知新

溶接接合教室 第8回 ボイラ
ボイラ「プロセス・施工編」
ボイラ「技術トピックス編」

じょうほう通 第18回北京エッセン溶接・
切割展覧会参加報告



写真：現場での作業（著者：左）

で規定しているスポーツです。そして、野球やサッカー等と最もちがうのは、プレーの場に審判がないということです。スコアの申告、ルールを守ることなどすべてゴルファー個人にゆだねられています。したがって、プレーヤーはつねに公正、公平の理念を自覚しフェアプレーに徹したスポーツマンシップ、さらにはフェロシップを求められます。自分に恥じないプレーをすることで、自分ばかりか他のプレーヤーも気持ちよく楽しいゴルフができるよう心掛けています。

⑥ 将来携わりたいと思っている事について教えてください。

将来の目標は、現場エンジニアリングで得られた知識や経験を活かして、最先端の溶接技術を現場に提供できるエンジニアになることです。そのためには、溶接だけでなく、他の分野に対しても、幅広い知識を習得し、その分野において誰にも負けない力を身につけたいと思います。現場では、実務経験も大切な要素だと思います。現場で発生するトラブルも多種多様であり、そこで得られるものは自分を大きく成長させてくれるものと信じ、多くの知識や経験を今後の現場エンジニアリングで吸収したいと思います。最後に、少しでも早く一人前の溶接エンジニアとして最前線で活躍できるよう情熱を持って日々の業務に精進していきます。

⑦ プロフィール

氏名：山田 有希（やまだ ゆうき）
所属：新日鉄住金エンジニアリング株式会社
海外海洋事業部 海外プロジェクト部
オブショアオペレーション室
所属先住所：298 Tiong Bahru Road #19-01/06 Central
Plaza Singapore 168730
E-mail: yamada.yuuki@eng.nssmc.com

書評

『科学と人間シリーズ 6

『アジアから鉄を変える—新しい鉄の基礎理論』

長井寿・守谷英明 著

出版社：株東洋書店
出版年：2013年
ISBN 978-4-86459-120-1

本書は、人間に即した科学・技術を追求する「科学と人間」シリーズ6であり、人類の文化に大きな影響を与えた「鉄」を取り上げたことは誠に意義深い。

著者は、超鉄鋼国家プロジェクトをリードし鉄に熱い思いを持つ長井氏と鑄造・熱処理技術に造詣が深く産学で幅広く活躍している守谷氏である。二人の対話形式で進むストーリーは、ポイントが浮き彫りになり分かり易い。専門外や文系の読者にも入り易いように縦書きで書かれているのも本書の特徴である。本書は単なる技術書ではなく、第一部（入門編）：新しい鉄利用の構想、第二部（基礎編）：鉄の基礎物理および技術史、第三部（応用編）：熱処理技術、を有機的に統合して、新たな価値を生み出している感がある。まさに、科学と人間の関わりについて二人が協奏しているようであり、面白い。

日本は終わった、鉄は成熟したというイメージを持つ読者には「アジアから鉄を変える」—新しい鉄の理論—は、大変驚きのあるタイトルであろう。このタイトルは、未来を切り拓き、夢を実現する若いエンジニアへの筆者らからのメッセージでもある。「新しい鉄の基礎理論」の意味するところは、縦割りの学問ではなく、技術を統合化することにより従来にない力が生まれる新アプローチとも読める。

科学も技術もエンジニアリングも人材であり、人材に求められる最も大事な要素は「挑戦する意欲」であると二人の著者が締めくくった点は感動の極みである。

新日鉄住金(株) フェロー 潮田浩作